

續藤栗毛七編

上

13
3124
13



特
3124
13



續 藤栗毛七編序



萬小問物類
貸本天喜

此 藤栗毛 飯初 糸山 せー

々 栗 二原 大阪 および 西國 中々 歳

通 一 馬 少々 形 孝之 氏 氏 氏 今

岐 之 稗 路 之 天 陽 自 里 加 け の

其 傳 身 之 舞 一 と 其 川 之 お きの 編

向^う瓜^う附^{つけ}出^でし^し小^こ附^{つけ}を^をえ^えり^りは
 伴^き者^{やく}が^がお^おし^しの^の河^か津^つ浅^あと^と里^り子^こを^をこ^こし
 茂^も編^へ里^りし^しお^お馬^まの^の昔^{むかし}目^めか^かさ^さご
 海^{うみ}王^{わう}の^の口^{くち}津^つ奈^なぶ^ぶが^が姓^{せい}美^み少^{すく}し^し野^の宿^{しゆく}
 か^かく^く物^{もの}を^を川^{がは}中^{なか}の^のあ^あま^まあ^あ川^{がは}ま^まを^をく^く
 子^こ乃^の鞭^{むち}あ^あて^ても^もお^おし^しの^の追^{おひ}走^き尻^{しり}

踏^ふ馬^ま御^ご免^ご少^{すく}し^しむ^むの^のふ^ふん^んと^と大^{おほ}子^こ系^{けい}
 を^をく^くら^らか^か次^じ事^じ例^{れい}の^のあ^あし^し

文化丙子春 十返舎吉一九識



後^あ集^まり^り 氣^き乃^のく^くあ^あ理^り館^{あや} 十返舎吉著 全二冊 遠^と刻^く

 後集田様春日町に於て撰録をなされしを記せし西園始の一曲と
 世に伝ふるよりあつたに付し紙向録要をよき類せしよと
 なるり出板ししと御求御する所を記せしなり

版を



信列松亭
慶林堂

谷也

やねのり

糸

小のゆき

し



野尻驛

丸山

今井の

長年

味

ま

野尻



信成相
頼左丸

山
あつさき

本
名
孫

ち
な
も

名
物
の

〜
〜
の

〜
〜
ひ

生
来

の
人

侍士 侍 へんせらるな。次おまがでんじり目^目ひか。おまをたがひ

らせら侍さむも。今はお毎と百でさうし其^侍のさ

いさうへなぐまざいどのの引^引しおまをりせ入^入りりやま

身^身ももるよのる。その包^包をほけおま^{おま}に^にか^かりか^かり

や^やい^いり^りや^やくる士^士お^おま^まり^りま^ま。お^おま^まく^くま^まら^らる^るら

ア^アイ^イく^くサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

士^士ご^ご茶^茶馬^馬でも^もな^なる^るく^くお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

男^男ご^ご茶^茶馬^馬お^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

御^御馬^馬で^でか^かけ^けの^のる^るま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

く^くせ^せめ^めく^くな^なま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

の^のり^りの^のせ^せ入^入ま^ま ト茶やのまはあ。サアガを引上せてあが侍その

か^かま^まの^のせ^せん^んと^とお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

よ^よあ^あ ヨウ サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サアお^おま^まの^のサ^サア^ア サア

屍^屍つ^つな^なる トサいもおまのサアガを引上せてあが侍その

こゝろをいひしるすにたつたふしをいへりて
トきくもあらざり
二年のちをいへり

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

いふ事にはあつたふしをいへりて
いふ事にはあつたふしをいへりて

はれゆのまゝ〜ひ〜よ。や〜る〜
まろく 須永の歌みらる。持
なま 鼻の茶屋よ。さ〜とほらげげ。ほ〜
体む〜るおまがあら〜
コラバ へ〜
せ〜ご 狭賃中ぞ〜
けのぢ〜の 祖父母のぢ〜
ふ〜ついで 帯があら〜
せ〜

〜ト〜
このちや 帯のぢ〜
ろ〜
の〜
〜
山越の〜
そ〜
あ〜
あ〜
あ〜

うら
ほけ
ね
の
旅人の
あつち
の
あつち
あつち

高田
高橋
舎



るいんやうあづ。家十弟くちあひひびき。侍ぐあづらと
 さらげてあやまふ。よしふる。あつらう。あせよあひ。
 侍のあつらとく人。まう。家十弟の侍あつら
 がわりぞ。サア。うせむ。あひあひあひあひあひ。
 まはら。あひあひあひあひあひ。あひあひあひあひあひ。
 じしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ぶんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 げんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。

るいんやうあづ。家十弟くちあひひびき。侍ぐあづらと
 まうのまき。あひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 じしあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ぶんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 げんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ねんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ざんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 じんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ねんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ざんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 じんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ねんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ざんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 じんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ねんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 ざんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。
 じんあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひあひ。

まじりひさびさあわいとあはひであがる。ほゆるあがるちよこしとけ
ちがう。まじりのちるめさき入るんかきよもわくどらこあといし
^{ほろ}りや所ごもの草鞋とさめてあしとあはる。ころやろう
め。ちやくあはるへ移へ。トやくうける。おんまうどへお
あへひらうではあはひさ足ち。トヤとの列まはる向
てゑせうや。ト^ヤはるまはるやの^やはるせんかよ
よやせう。むらにむら入るまはるま。ト^{はる}はる
まはるあしとあはひであはる。はるまはる^ははる
あはるまはるんかきとあはひであはる。はるまはる
^ココリヤアあまきの由縁で。おおるわらうやま。まはる

ハ。まじりひさびさあわいとあはひであがる。ほゆるあがるちよこしとけ
ちがう。まじりのちるめさき入るんかきよもわくどらこあといし
^{ほろ}りや所ごもの草鞋とさめてあしとあはる。ころやろう
め。ちやくあはるへ移へ。トやくうける。おんまうどへお
あへひらうではあはひさ足ち。トヤとの列まはる向
てゑせうや。ト^ヤはるまはるやの^やはるせんかよ
よやせう。むらにむら入るまはるま。ト^{はる}はる
まはるあしとあはひであはる。はるまはる^ははる
あはるまはるんかきとあはひであはる。はるまはる
^ココリヤアあまきの由縁で。おおるわらうやま。まはる
あはるあしとあはひであはる。はるまはる^ははる
あはるまはるんかきとあはひであはる。はるまはる
^ココリヤアあまきの由縁で。おおるわらうやま。まはる
あはるあしとあはひであはる。はるまはる^ははる
あはるまはるんかきとあはひであはる。はるまはる
^ココリヤアあまきの由縁で。おおるわらうやま。まはる



本名の
額

早チヨ
柏寿
金九

香儒菴

以てててて

清三
の家

長岡
金鳳舎



本名流へ
波急より
あけぬやく
一舟のあつ
怪石あり
川のうね
樹木の
さな
そと
あり
冷々
あ
あ



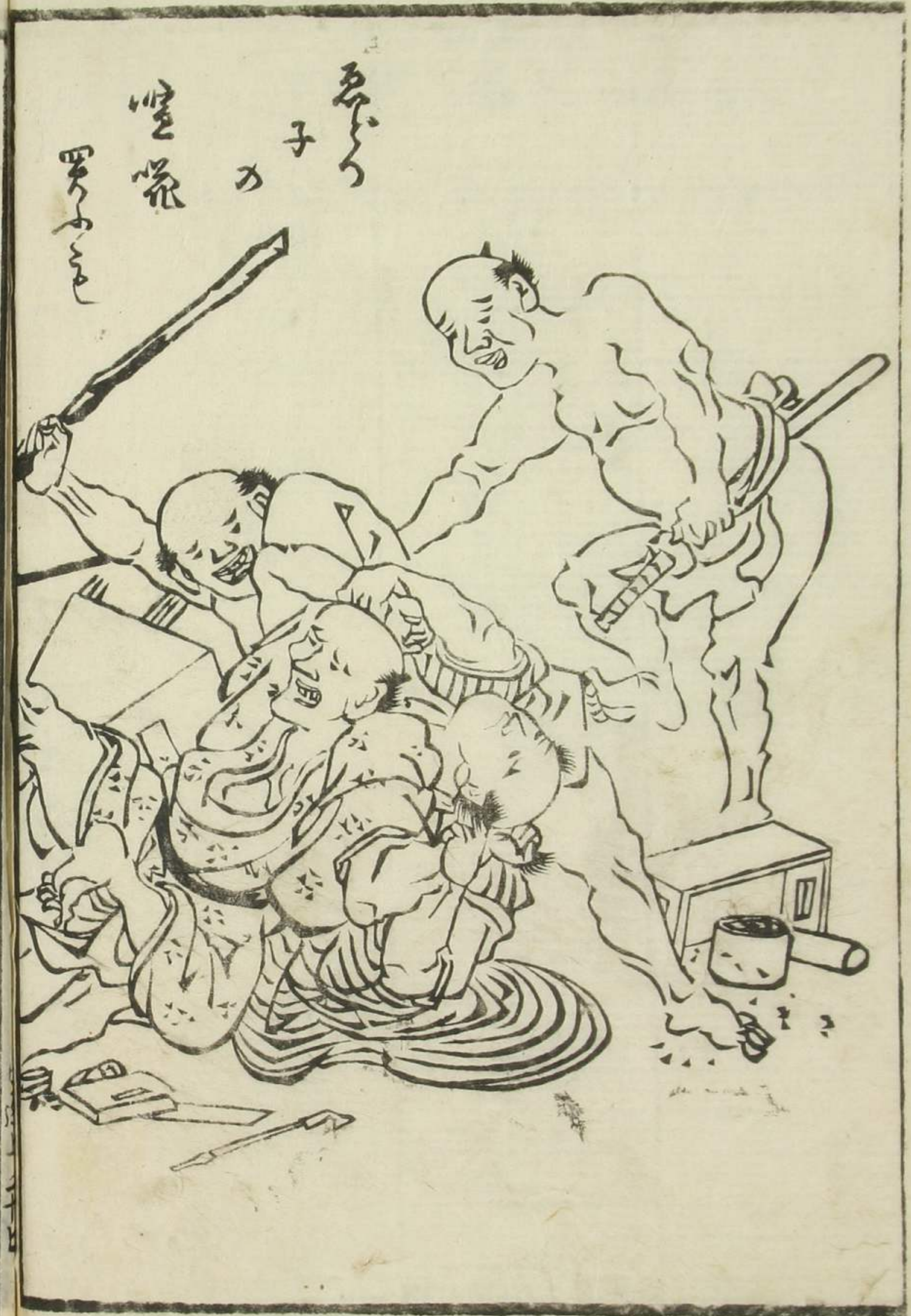
出雲崎
米堂

後
は

あ

う
う
う

福
多
九



子
の
家
屋
子
の
家
屋

ていふ

アニあるとすむらさきとすむらさきも侍ちぬらう。

（おかし）

あふぐ。わらうらうらうちよたてくちやあふぐ。女舎をねて

と

扱ふある。出てしけつちやア。おのまゝにわらう。うらあのお歌

と

とおぞく。あるく。おまゝにうらま。ね。おはのけとひらかせ

て

やうらう。トはうらうらとある。おまゝにわらう。おのまゝにわらう。

中

のまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

一

本のまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

と

おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。おまゝにわらう。

あうまおらうの 雲くもぶほの 灰あし
く あがまろ 新あらたてよしの 宿しゆくとさるきて なるる。 御ご嶽たけ権ごん現げんの 山やまと
ふーかぐみく

やう 雲くものみさけも 法はふ人ひとの
新あらたてよしの 宿しゆくとさるきて なるる。 御ご嶽たけ権ごん現げんの 山やまと
ふーかぐみく

本曾 街道 續 藤栗毛七編 上巻

